

ぐるめ散歩

……焼き鳥・居酒屋……

やきとりミートステーション

「安くてうまい」をモットーに、気取らない雰囲気多彩な一品料理と酒を楽しめる居酒屋。

「串焼き三姉妹」など遊び心に富んだ名前が付いたメニューには季節の材料を使った料理が常時50種以上並び、オリジナルの料理も多い。主力の焼き鳥は鶏や豚の様々な部位や野菜など30種以上あり、自家製のタレやニンニク入りの辛みそが好評。酒も日本酒、焼酎を中心に多くの種類を揃えている。



永瀬さん

焼き鳥や多彩なオリジナル料理「安くてうまい」の追求に知恵絞る



店主の永瀬秀夫さん(72)は茨城県出身で、高校卒業後に上京しすし店に就職、昭和52年に現在の場所に店を開いた。最初は焼き鳥ともつ煮込み、マグロ料理が中心だったが、遊び心で工夫するうちにメニューが増えた。魚のアラなど安く手に入る素材を有効活用し、新鮮な狛江産野菜を使う

ど、料理の質を保ちながら価格を抑える努力をしている。また、お客が釣った大きなマグロを買い入れて解体し提供することもある。

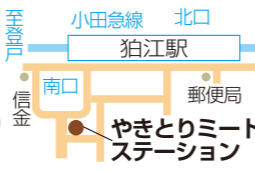
カウンターとテーブル1卓で20席と小さな店は、若いサラリーマンから高齢者まで様々な客が肩を寄せ合うようにして並ぶアットホームな雰囲気が人気で、市外から訪れる人も多い。

お客との交流を大切にしている永瀬さんは「初めての人でも隣の客と友達のように料理と酒を気軽に楽しんでもらえるように心がけています」と話している。

■おすすめMENU■

- ①串焼き三姉妹¥900
 - ②しそ入りタウワン¥418
 - ③大根煮¥400
 - ④もつカレー¥550
- ／ホルモン3点盛¥715 / まぐろブツ¥605 / トロ落¥700 / 厚揚げ焼き¥400 / きつね納豆¥385 (税込み)

☎ 3489-1192
東和泉1-20-4 営業=午後4時~10時 (日曜は2時~9時) 月曜休み



新春に伝統の邦楽を披露

市役所コンサートが1月19日 昼に中央公民館で催され、三味線演奏家の杵屋五司郎さんが、三味線の種類や歌舞伎と細棹三味線との関わりなどをわかりやすく解説。続いて秋の景色を描写した代表的な長唄「秋の色種」などを演奏、歌舞伎「勧進帳」の「安宅の関」の弾き唄いを披露した。最後に狛江ゆかりの舞踊家花柳恵右衛門さんが新春にふさわしくおめでたい日本舞踊「三番叟 あやつり」を杵屋さんの演奏に合わせて舞った。

このコンサートは一般財団法人狛江市文化振興事業団が主催しているもので、今回で37回を数える。

参加者は「歌舞伎の鑑賞はなかなかできないので、とっても良かった」などと話していた。

問い合わせは ☎ 3430-4106 一般財団法人狛江市文化振興事業団。



花柳さん(左)と杵屋さん

つなげよう 音楽の架け橋

新春の多摩川でロードレース、600人完走

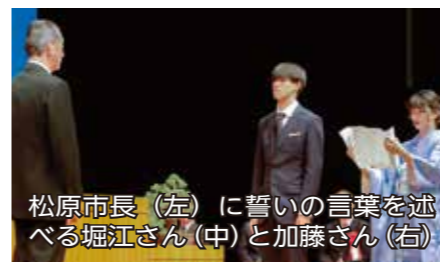
第54回狛江多摩川ロードレース大会(狛江市、狛江市教育委員会、狛江市体育協会主催)が1月7日(日)に多摩川堤防上の五本松付近を発着点として開かれた。平成27年から初春まつりの一環として開催されていたが、今年は単独の開催となった。

レースは小学生から高齢者までのランナーが、堤防上の1km、2km、3km、5km、10kmのコースに分かれて健脚を競い、昨年より40人多い600人が完走した。10kmの部には駒澤大学陸上競技部の選手3人がゲスト参加したほか、藤田敦史監督も激励に訪れた。

沿道には応援や見学の人も多く、盛んな声援を送っていた。ランナーたちは「天気に恵まれて楽しかった」「駒澤の選手に引っ張ってもらったので気持ちよく走れました」などと話していた。



力走するランナーたち



松原市長(左)に誓いの言葉を述べる堀江さん(中)と加藤さん(右)

20歳を祝う会に456人 実行委員に初の留学生

狛江市二十歳を祝う会が1月8日(日)にエコルマホールで催された。今年の対象者は約750人で、式典には456人が参加した。

式典では松原俊雄市長が、参加者が生まれた平成15年に打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ」のエピソードを取り上げ「壁にぶつかった時も、共に悩み助けてくれる家族や友人と手を携え、乗り越えていける存在になり、未来への旅を続けてください」とはなむけの言葉を贈った。これにこたえ、実行委員長に加藤風奈さんと委員の堀江琉世さんが「コロナ後の地球上では、ウクライナやパレスチナなど問題が頻発し、世界が分断されていくように感じます。私たちは人のつながりを尊重し、話し合いで理解しながら互いに高め合う大切さを知っています。狛江で過ごしたすばらしい仲間と共に、誰もが笑顔でいられるような世界を作る一翼を担えるよう精進します」と誓いの言葉を述べた。

アトラクションでは、中学校時代の教師のメッセージ映写やプレゼント抽選会、狛江第二中学校出身の森風茜さんが率いて世界大会に出場したダブルダッチ「Bolge(ボルグ)」が演技を披露した。

今年の実行委員は、狛江第三中学校出身の加藤さんと堀江さん、市が対象者全員に郵送した募集に応じた、韓国の留学生ジョン ジュンヨンさんの3人が務めた。外国籍の実行委員は初。

企画から当日の司会、アトラクションを担当した3人は「委員が少

なく緊張しましたが、自分たちも楽しもうとコミュニケーションを取り合って上手くできました」とほっとした表情。ジョンさんは「韓国には成人式がなく、20歳を祝うのは日本らしく、貴重な経験になりました」と話していた。

狛江三中から子ども食堂へ 銀杏募金129,631円贈る

狛江第三中学校(工藤聡校長)が学校全体で取り組んでいる銀杏募金で集めた129,631円を1月15日(日)に「ごはんと居場所の連絡会」に贈った。

同会には市内で子ども食堂を運営しているみんなの居場所、月末食堂、ごはん+居場所おかえり、こども食堂ひかりっこ、こまこま☆子ども食堂、野川のえんがわこまの6団体が加入し、情報交換やイベントを開催している。

銀杏募金は、平成3年の雲仙普賢岳噴火の被災地へ贈ったのがきっかけで、毎年災害の被災者などに贈っており、今回で33回目を数える。生徒や教職員が校庭のイチヨウの実を集めて加工した銀杏を、募金に協力してくれた人に渡す活動を続けている。今回は11月21日(火)・22日(水)に地域貢献委員会の生徒が狛江駅前街頭募金を行った。

この日は、工藤校長と同委員会委員長の近藤淳莉さん(2年)と副委員長の塩野早紀さん(同)、三部茜さん(1年)らが市民活動支援センターを訪れ、連絡会へ募金を手渡した。近藤さんらは「私たちの身近で、同世代の子どもの生活を支えている子ども食堂に贈ることにしました。街頭で声を掛けられ、多くの市民に支えてもらっていることがわかりうれしかったです」と話していた。連絡会では「子ども食堂の活動を中学生が知ってくれた

ことがうれしい。大切に使いまわすと喜んでいました。」



三中生から銀杏募金を子ども食堂連絡会に贈呈

燃え上がるどんど焼きに喚声 防災への思い新たに出初式

狛江の新春を彩る「こまえ初春まつり」が1月14日(日)に多摩川緑地公園グランドなどで催された。

狛江市消防団の出初式は木遣りやはしご乗りを皮切りに消防団の消防操法演技、カラフルな一斉放水などが行われた。元日に起きた地震で能登半島が大きな災害に見舞われただけに参加者たちは防災への思いを新たにしていた。

また、会場に小田急電鉄、自衛隊、狛江消防署などの展示やFC東京のドロンパふわふわ、キッチンカーが並び家族連れなどでにぎわった。

グランド下流では狛江市ボーイスカウト連絡協議会主催の小正月行事「どんど焼き」が行われ、受付には正月飾りを持った人たちの長い列ができていた。竹やカヤなどで組んだ高さ10mほどの小屋が大きな炎と煙に包まれると、周囲の人々からは喚声が上がっていた。同協議会では会場で能登半島地震被災地支援の募金を行い、寄せられた義援金全額の302,422円を17日(火)に被災地へ送った。



どんど焼き

はしご乗り